1 学会誌への投稿

※当研究所職員は下線で示した。

Molecular evolution of the fusion protein gene in human respiratory syncytial virus subgroup A.

Infect Genet Evol. 2016;43:398-406.

Kimura H, Nagasawa K, <u>Tsukagoshi H</u>, Matsushima Y, Fujita K, Yoshida LM, Tanaka R, Ishii H, Shimojo N, Kuroda M, Ryo A.

Assessing potential countermeasures against the dengue epidemic in non-tropical urban cities. Theor Biol Med Model. 2016;13:12.

Masui H, Kakitani I, Ujiyama S, Hashidate K, Shiono M, Kudo K.

Molecular evolution of respiratory syncytial virus subgroup A genotype NA1 and ON1 attachment glycoprotein (G) gene in central Vietnam.

Infect Genet Evol. 2016;45:437-446.

Yoshihara K, Le MN, Nagasawa K, <u>Tsukagoshi H</u>, Nguyen HA, Toizumi M, Moriuchi H, Hashizume M, Ariyoshi K, Dang DA, Kimura H, Yoshida LM.

4 Pathogen profiles and molecular epidemiology of respiratory viruses in Japanese inpatients with community-acquired pneumonia.

Respir Investig. 2016;54(4):255-263.

Kurai D, <u>Sasaki Y</u>, Saraya T, Ishii H, <u>Tsukagoshi H</u>, Kozawa K, Ryo A, Ishioka T, Kuroda M, Oishi K, Takizawa H, Kimura H.

5 全国がん登録への期待と三つの課題.

JACR NEWS LETTER. 2016;39:1.

猿木信裕

6 地方衛生研究所の連携による食品由来病原微生物の網羅的ゲノム解析を基盤とする新たな 食品の安全確保対策に関する研究.

食品衛生学雑誌. 2016;57(6):185-188.

調恒明, 小澤邦壽, 猿木信裕, 佐多徹太郎, 四宮博人, 黒田誠, 木村博一.

7 疫学検討から見た群馬県と利根沼田2次保健医療圏におけるつつが虫病の特徴.

The Kitakanto Medical Journal. 2017;67(1):23-31.

吉住正和,小池幹義,高橋奈緒美,田仲久人,木暮政惠,岡田正敏,津久井智,<u>猿木信裕</u>,高橋篤.

8 JACR における新たな事業「J-CIP 患者目線の情報発信プロジェクト」 JACR NEWS LETTER. 2017;42:2-3. 猿木信裕.

9 ヒトノロウイルス (HuNoV) キャプシド遺伝子の分子進化について.

病原微生物検出情報. 2017;38:12-14.

長澤耕男,楠英樹,黒田誠,木村博一,小林美保,塚越博之,猿木信裕,松島勇紀,石川真理子,清水英明,岡部信彦,吉澄志磨,古川紗耶香,高橋知子,植木洋,水越文徳,篠原美千代,本谷匠,鈴木理恵子,柴田伸一郎,左近直美,重本直樹,岡本玲子,調恒明,山下育孝,四宮博人,西村浩一,岩切章,小澤邦寿,梁明秀,皿谷健,森田幸雄,鈴木善幸,片山和彦.

Genetic analyses of the fusion protein genes in human parainfluenza virus types 1 and 3 among patients with acute respiratory infections in Eastern Japan from 2011 to 2015. J Med Microbiol. 2017;66(2):160-168.

Tsutsui R, <u>Tsukagoshi H</u>, Nagasawa K, Takahashi M, Matsushima Y, Ryo A, Kuroda M, Takami H, Kimura H.

2 学会等での発表

※当研究所職員は下線で示した。

1 ウイルス分野における活用事例

衛生微生物協議会第 37 回研究会, 広島市 (2016 年 7 月) 塚越博之.

2 ベトナムハノイと日本関東地域における大気エアロゾル中有機成分の特徴

第33回エアロゾル科学・技術研究討論会, 堺市 (2016年8月)

熊谷貴美代, 関口和彦, 山口良介, 藤谷雄二, Nguyen Thi Thu Thuy, Nghiem Trung Dung.

3 環境データを考察させる教育が児童・生徒にもたらす効果

日本環境教育学会第27回大会,東京(2016年8月)

齊藤由倫, 田子博.

4 ベトナムハノイにおける $PM_{2.5}$ および $PM_{0.1}$ 中化学成分の特性評価

第33回エアロゾル科学・技術研究討論会, 堺市 (2016年8月)

山口良介, 関口和彦, 三小田憲史, <u>熊谷貴美代</u>, 藤谷雄二, Nguyen Thi Thu Thuy, Nghiem Trung Dung.

5 環境教育教材の作成を通して教材作成者の環境リテラシーは向上するか

日本環境教育学会第27回大会,東京(2016年8月)

田子博, 飯島明宏.

6 都市,郊外,森林地点における PM_{2.5} 同時観測-有機マーカー成分の挙動 第 57 回大気環境学会年会,札幌市 (2016 年 9 月)

熊谷貴美代, 田子博, 齊藤由倫, 木村真也, 工藤慎治, 飯島明宏.

7 都市, 郊外, 森林地点における PM_{2.5} 同時観測-無機ガスとの関係

第57回大気環境学会年会, 札幌市 (2016年9月)

田子博, 熊谷貴美代, 木村真也, 齊藤由倫, 飯島明宏, 工藤慎治.

8 都市, 郊外, 森林地点における PM_{2.5} 同時観測-無機元素の特徴

第57回大気環境学会年会,札幌市(2016年9月)

齊藤由倫, 熊谷貴美代, 田子博, 木村真也, 飯島明宏, 工藤慎治.

9 2014 年 2 月に発生した PM_{2.5} 高濃度事象の要因解析

第57回大気環境学会年会, 札幌市 (2016年9月)

熊谷貴美代, 辻昭博, 浦西克維, 菅田誠治.

10 全国 PM₂₅成分測定結果から見た高濃度日における地域別化学組成の特徴

第57回大気環境学会年会, 札幌市 (2016年9月)

熊谷貴美代, 山神真紀子, 長谷川就一, 菅田誠治.

11 **有機マーカー成分を用いた PM_{2.5} 発生源寄与の推定(1)-PMF モデルによる発生源の割り当て** 第 57 回大気環境学会年会, 札幌市 (2016 年 9 月)

飯島明宏, 工藤慎治, 熊谷貴美代, 田子博, 齊藤由倫, 木村真也, 関口和彦.

12 有機マーカー成分を用いた PM_{2.5} 発生源寄与の推定(2)-気象解析による発生地域の推定 第 57 回大気環境学会年会, 札幌市 (2016 年 9 月)

工藤慎治, 飯島明宏, 熊谷貴美代, 田子博, 齊藤由倫, 木村真也, 関口和彦.

13 2013-2015 年度における全国の PM_{2.5} 高濃度分布

第57回大気環境学会年会, 札幌市 (2016年9月)

山神真紀子,橋本貴世,<u>熊谷貴美代</u>,寺本佳宏,遠藤昌樹,木下誠,中坪良平,長谷川就一,菅田誠治.

14 2015年6月における PM_{2.5}高濃度事例の解析

第57回大気環境学会年会, 札幌市 (2016年9月)

池田光広,中島亜矢子,山本真緒,中坪良平,寺本佳宏,山神真紀子,牧野雅英,木戸瑞佳,武田麻由子,熊谷貴美代,長谷川就一,遠藤昌樹,小野寺甲仁,松岡靖史,菅田誠治.

15 2015年7,8月における PM_{2.5}高濃度事例の解析

第57回大気環境学会年会, 札幌市 (2016年9月)

梶田奈穂子,中島亜矢子,池田光広,山本真緒,中坪良平,寺本佳宏,山神真紀子,牧野雅英,木戸瑞佳,花岡良信,武田麻由子,熊谷貴美代,遠藤昌樹,佐久間隆,長谷川就一,菅田誠治.

16 2015年 10 月における PM_{2.5} 高濃度事例の解析

第57回大気環境学会年会, 札幌市 (2016年9月)

中島亜矢子, 池田光広, 山本真緒, 中坪良平, 寺本佳宏, 梶田奈穂子, 山神真紀子, 牧野雅英, 木戸瑞佳, 花岡良信, 熊谷貴美代, 藤昌樹, 佐久間隆, 長谷川就一, 菅田誠治.

17 2016年2,3月におけるPM_{2.5}高濃度事例の解析

第57回大気環境学会年会, 札幌市 (2016年9月)

木戸瑞佳, 中島亜矢子, 山本真緒, 寺本佳宏, 山神真紀子, 牧野雅英, 武田麻由子, 熊谷貴美 代, 長谷川就一, 菅田誠治.

18 インフルエンザウイルスの検体輸送に関する基礎的検討

地方衛生研究所全国協議会第31回関東甲信静支部ウイルス研究部会,千葉市(2016年9月) 高橋裕, 齋藤麻理子, 塚越博之, 黒澤肇, 猿木信裕.

19 尾瀬高校支援プロジェクトについて(環境教育についての事例報告)

平成 28 年度全国環境研協議会関東甲信静支部水質専門部会, 浜松市 (2016 年 10 月) 町田仁, 田子博, 齋藤由倫, 大塚佳臣, 山崎宏史.

20 群馬県における粒子状物質濃度測定結果と測定値の品質管理

平成 28 年度全国環境研協議会関東甲信静支部大気専門部会, 土浦市 (2016 年 11 月) 梅田真希, 田子博.

21 有機マーカーに着目した PM_{2.5} の発生源寄与評価

第43回環境保全・公害防止研究発表会, 山形市 (2016年11月) 熊谷貴美代, 田子博, 齊藤由倫, 飯島明宏, 工藤慎治.

22 LAS 環境基準超過河川における排出源解析

第43回環境保全・公害防止研究発表会, 山形市 (2016年11月)

梅澤真一, 高坂真一郎, 町田仁, 猿木信裕.

23 誘導体化-GC/MS 法による PM_{2.5} 中の有機マーカー成分分析

群馬県分析研究会第 41 回研究発表会, 前橋市 (2017 年 2 月) 熊谷貴美代.

24 市販鶏肉および生野菜における食中毒原因菌汚染実態調査

地方衛生研究所全国協議会第28回関東甲信静支部細菌研究部会, 甲府市 (2017年2月) 小林美保, 永井佳恵子, 高山真津香, 齋藤麻理子, 中野剛志, 黒澤肇, 藤田雅弘, 猿木信裕.

25 魚へい死事案の原因究明方法に関する検討

第51回日本水環境学会年会,熊本市(2017年3月)

中曽根佑一,梅澤真一,木村真也.

26 尾瀬沼の水生植物の変化

第51回日本水環境学会年会,熊本市(2017年3月)

木村真也, 中曽根佑一, 井上俊.

27 専門家による高度な環境教育支援が高校生の環境意識にもたらす影響評価(1)

第51回日本水環境学会年会,熊本市(2017年3月)

田子博, 齊藤由倫, 町田仁, 大塚佳臣, 山崎宏史,中村卓雄, 植栗慧.